

ぜ校長通信

No.4 (7月号その1) 夢科高校 校長 宮澤 和人

2020.6/23

どきどきオンライン講習会 ～ 老若男女職員、こぞって研修！ ～

新型コロナウイルス感染第2波を想定し、本校ではその対策のためにオンライン学習と授業ができる体制整備を進めています。先月6月17日には、教務係・情報委員会が中心となり、教職員向けの講習会を実施してくださいました。

利用するブラウザはグーグルクロームの「G Suite」というサービスを使い、Classroom (学級・講座集団) での課題配信、Meet (Web 会議、授業)、Foams (小テスト作成) などの基本機能の操作を行いました。

当然ながら若手はのみ込みが早く、すぐ次のステップへ移行していましたが、私はおっかなびっくりボードを操作し、助言役の先生につきっきりで対応してもらいました。通常授業で利用すれば授業改善につながりそうですし、職員会議も個人情報に気をつけ Web で実施すれば定着が早いと思っています。



ぶるぶる中学校訪問中の出来事 ～ 旅は情け 人は心 ～

6月～7月にかけて私は、地域内の中学27校へ学校訪問の旅をしています。各中学校におかれましては、コロナ対応で時間がないところ貴重な機会をつくっていただき、心より感謝しています。

先日、御代田中学校に訪問する前のことでした。訪問の前に腹ごしらえをしようと、私は御代田駅前のベンチに陣取り、お弁当を広げました。その時、駅舎から大柄なおじさんが出てきたのです。見ると頭にはバンダナを巻きヒゲを生やし、こっちを睨んでいます。『まずい。』私はビビって視線をそらしました。しかし彼は近寄ってきて、私にこう言いました。

『お茶よかったら飲みなよ。』『御代田は初めてかい？』睨まれたと思っていた眼は、にこにこ優しいまなざしでした。※私は自分に恥じ入り、ご厚意に対し何度もお礼を言って駅を後にしました。問：※下線部について心境を説明せよ



困ったお話(その2の②) (前回のあらすじ)

町内の教職員集合住宅で暮らす私は、屋内にあるツバメの巣から投下される「爆弾」攻撃に困り、回避方法を考えていた。

妄想した末、私は4つの回避策にたどりついたが、すぐにそれぞれの欠点にも気がついた。回避策は倫理規定上の問題で割愛するが、①～④の欠点から推測してほしい。

- ① 「校長先生だけ まだ緊急事態発令中か？」と思われてしまう
- ② T 先生に見られたら『校長先生とうとう〇〇！』と HP「夢高 Days」にアップされてしまう
- ③ 「爆弾」に見舞われたM先生から「モロハロ校長」として糾弾される
- ④ 私に称賛の声がわき起こり、「師」と仰ぐ者が続出してしまう

さて次の日、校用技師のYさんに相談したところ、さっそく巣の下に「フン除けボード」をつくってくださり解決した。ありがとうございました。▽最後に教訓 「困ったら ひとりで悩まず まず相談」

